



この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。**

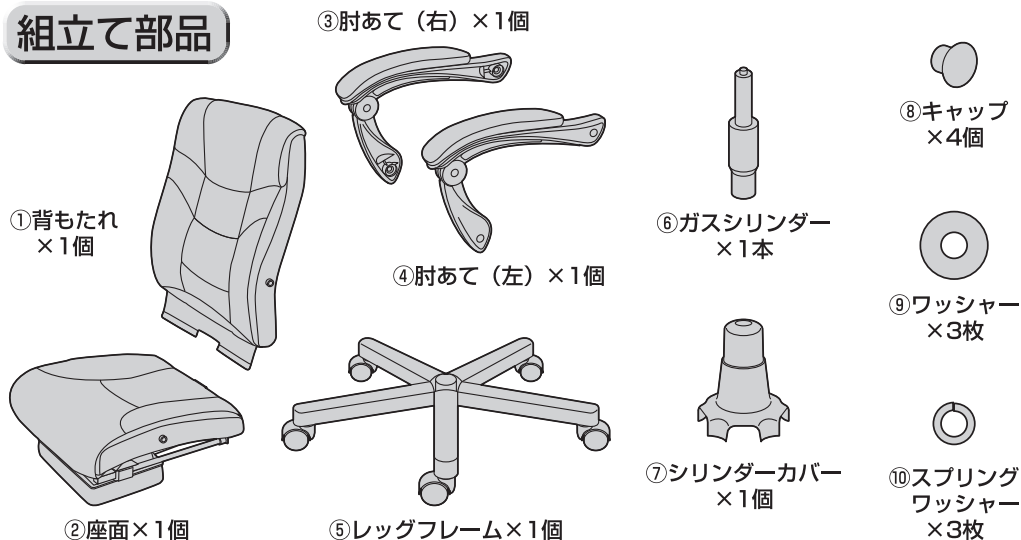
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの……

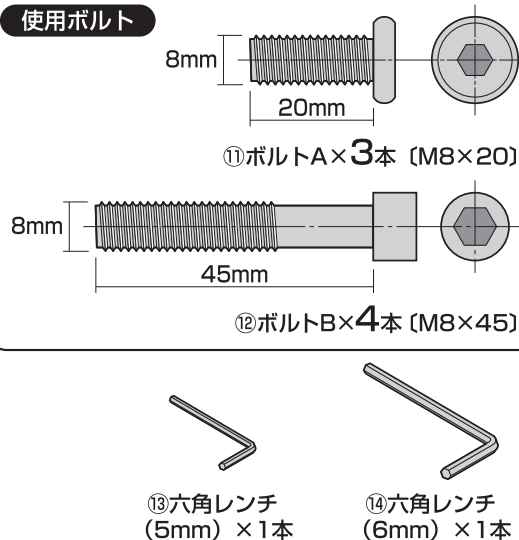
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）



**組立て部品**

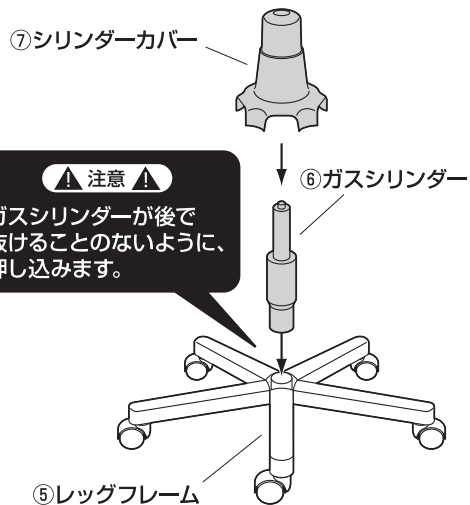


**使用ボルト**

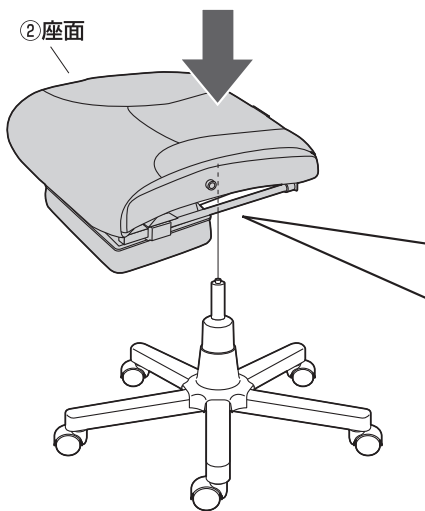


※部品の欠品や破損があった場合は、品番（150-SNCL023など）と上記の部品番号（①～⑭）と部品名（キャップなど）をお知らせください。

**1** レッグフレームにガスシリンダーとシリンダーカバーを取付けます。

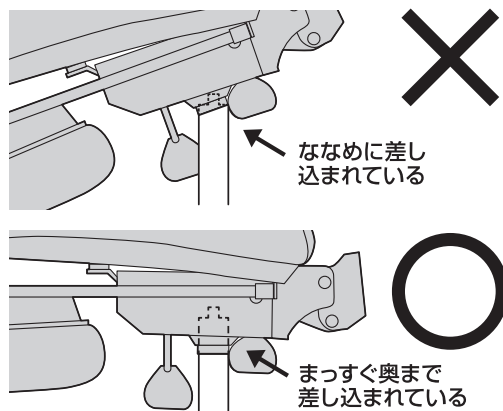


**2** ガスシリンダーに座面を差し込みます。



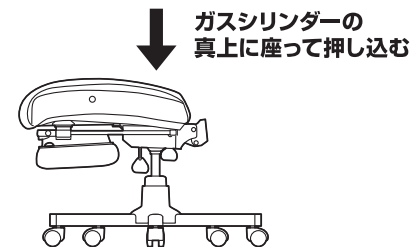
**注意**

座面をガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。  
座面がななめに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。

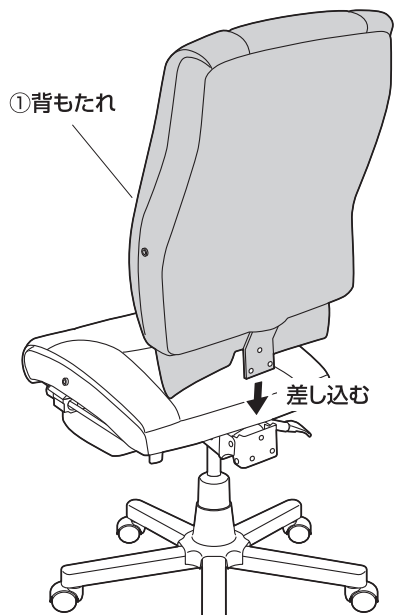


※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

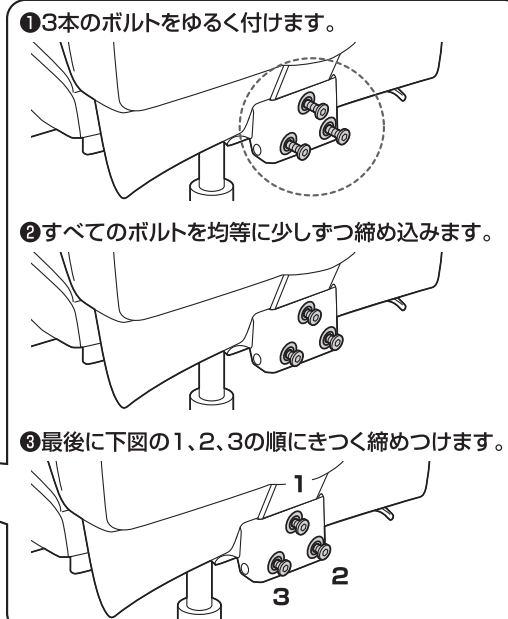
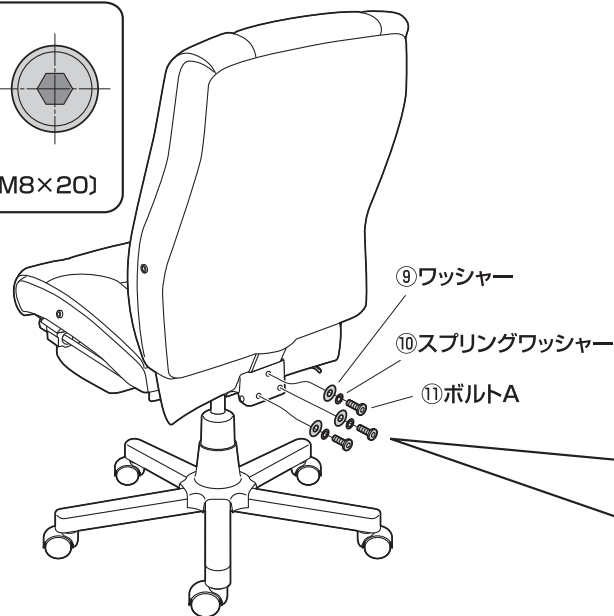
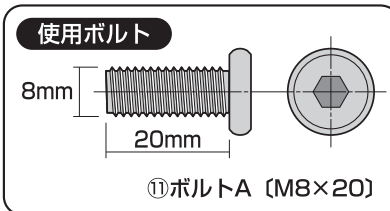
- ※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
- ※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
- ※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。
- ※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。



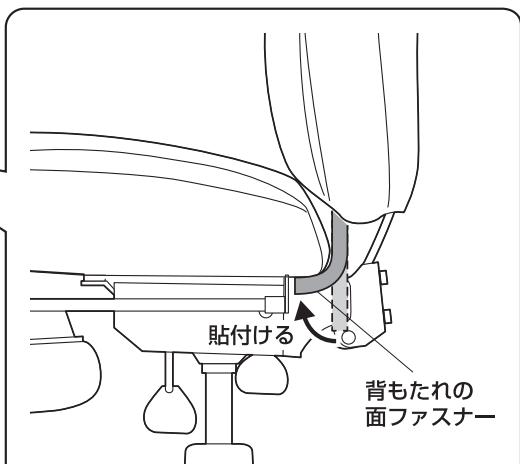
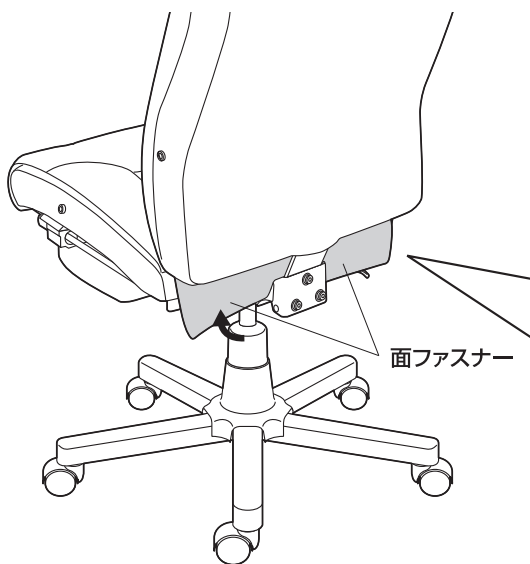
**3** 座面に背もたれを差し込みます。



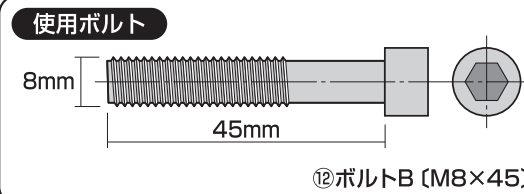
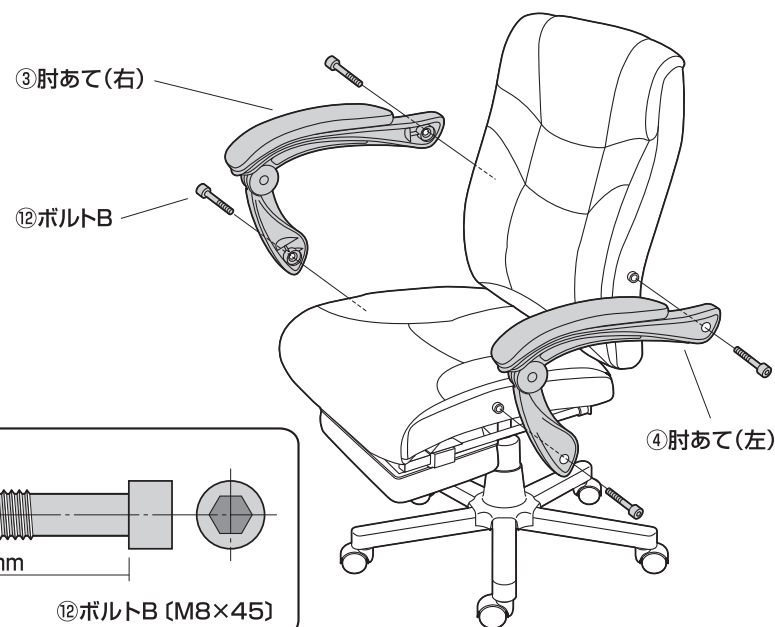
**4** 座面に背もたれを固定します。



**5** 背もたれの面ファスナーを座面の裏側に貼り付けます。



**6** 肘あてを取付けます。



## 7 肘あてにキャップを取付けて完成です。

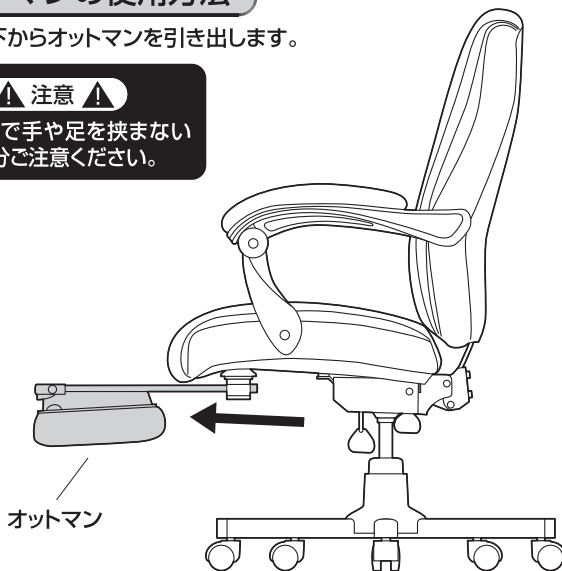


## オットマンの使用方法

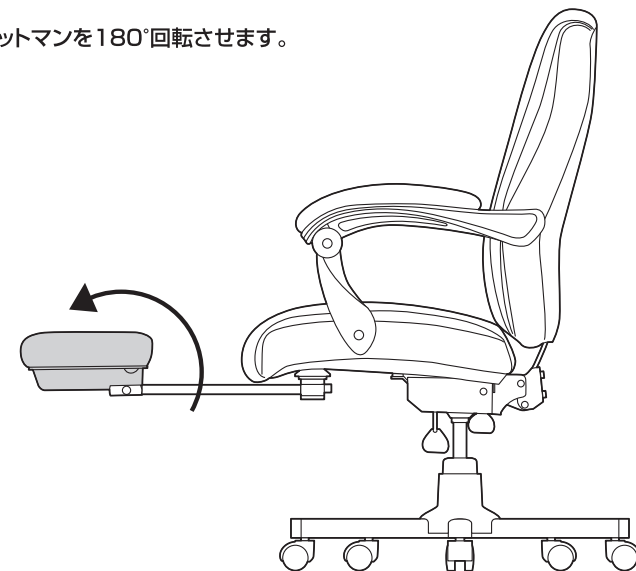
①座面の下からオットマンを引き出します。



可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。



②オットマンを180°回転させます。



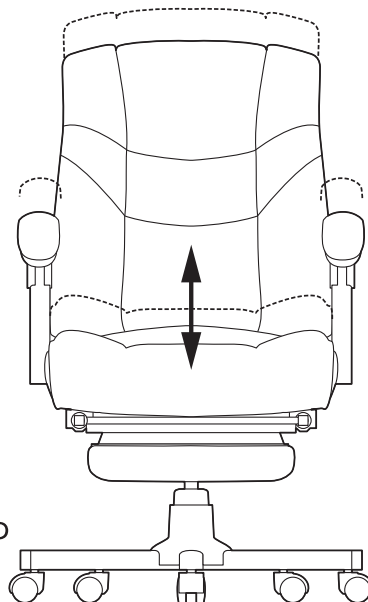
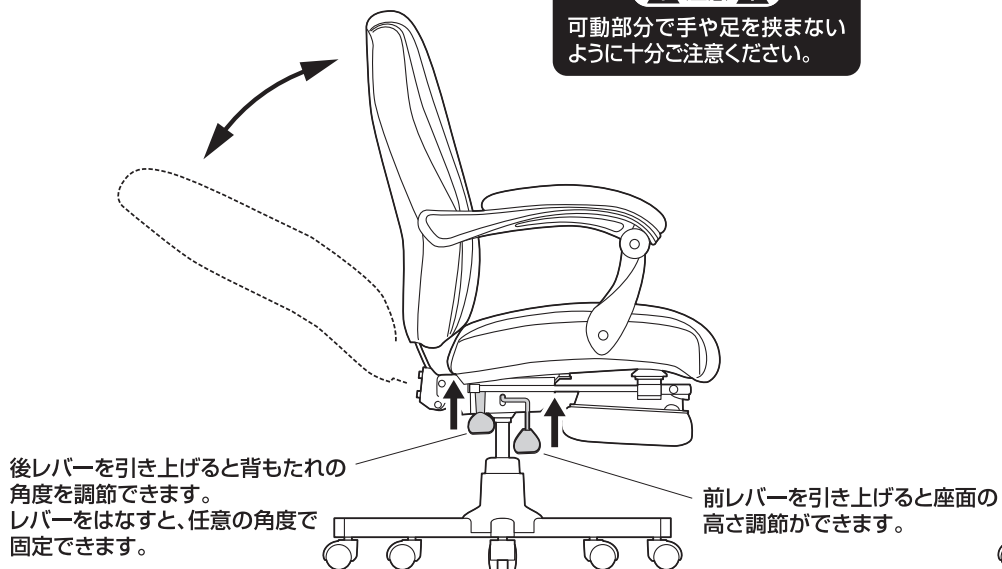
## 各部の調節方法



レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面を差し込み直してください。



可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。



## チェアの品質表示

構造部材：座部・背もたれ部/合板 肘あて部/本革  
脚部/木 キャスター部/ナイロン  
張り材：本革、PVC  
クッション材：ウレタンフォーム

## ▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
  - 滑りやすい床面で使用しないでください。
  - 用途以外で使用しないでください。
  - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
  - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
  - 座面や肘あての上に登らないでください。転倒の原因になります。
  - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
  - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
  - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
  - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
  - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。